



2017年3月期
決算説明会資料

1. 2017年3月期【連結】決算のポイント
2. 【連結】業績推移
3. 【連結】損益の状況
4. 【連結】貸借対照表
5. 【連結】キャッシュ・フロー
6. 事業環境
7. 今後の事業戦略
8. 2018年3月期【連結】業績予想
9. 株主還元

■本資料における注意事項

この資料には、2017年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先：管理本部長 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811 FAX 03-6212-2826

ホームページ<http://www.hakudo.co.jp/>

1. 2017年3月期【連結】決算のポイント

前連結会計年度比増収増益

(1) 売上高は前連結会計年度比 **6.7%** 増加

- ◆ 半導体製造装置業界の需要が堅調に推移した
- ◆ 標準在庫品・特注品ともに前連結会計年度比で増加した

(2) 営業利益は前連結会計年度比 **16.3%** 増加

経常利益は前連結会計年度比 **16.7%** 増加

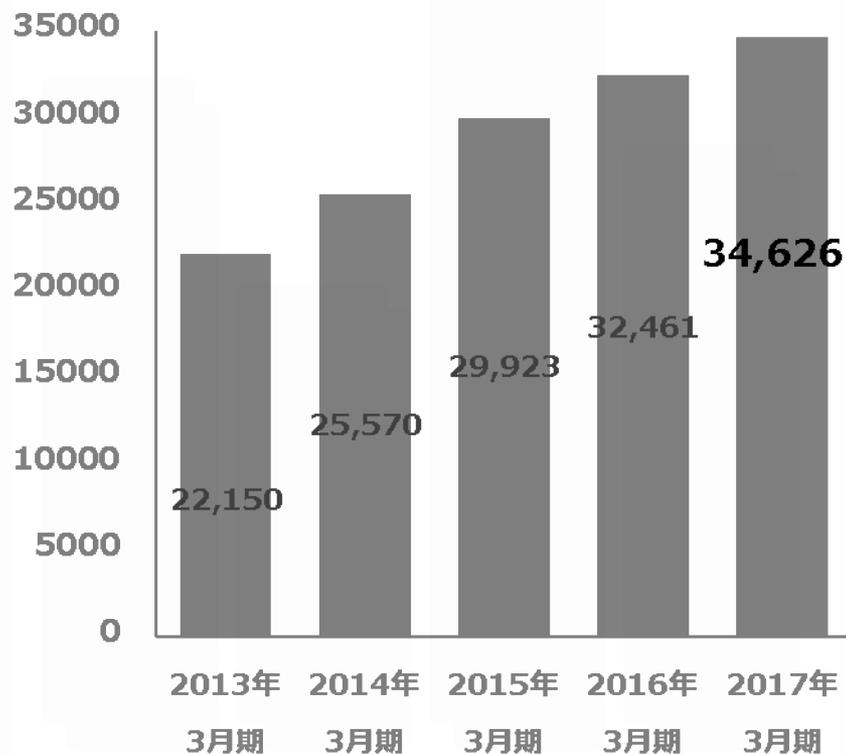
- ◆ 商品在庫に係わる相場損益は、前連結会計年度の1億9千万円の相場差損に対して、当連結会計年度は1億6千万円の相場差損となった。

2. 【連結】業績推移

(1) 過去5年間の売上高・営業利益・営業利益率

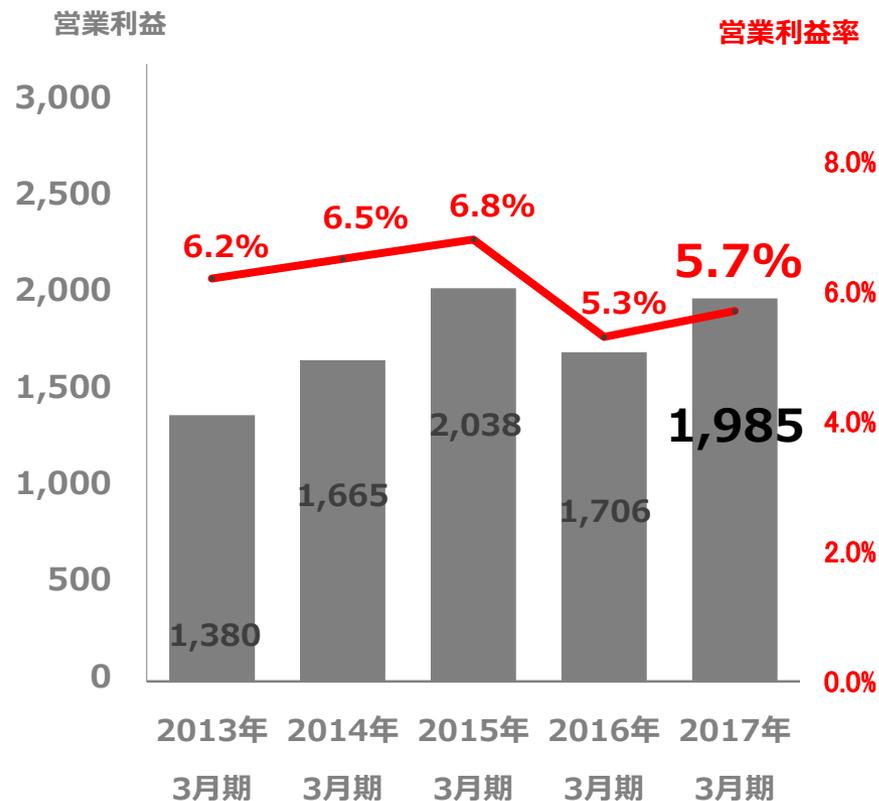
売上高

(単位：百万円)



営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



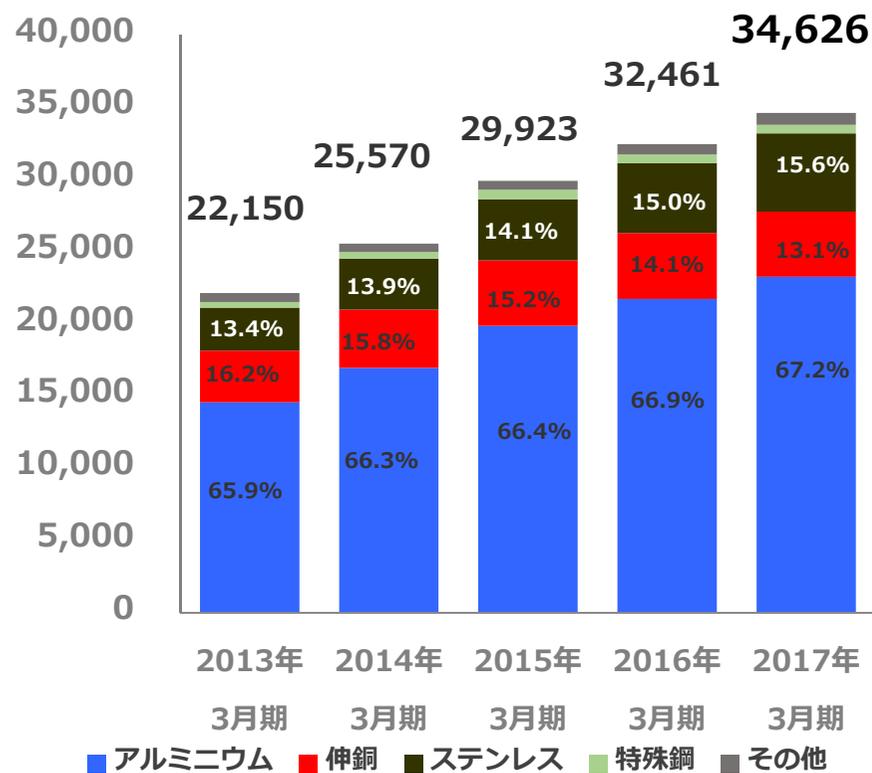
◆売上高は前連結会計年度比で21億6千5百万円増加し、営業利益は前連結会計年度比2億7千8百万円増加した。

2. 【連結】業績推移

(2) セグメント別過去5年間の売上高推移

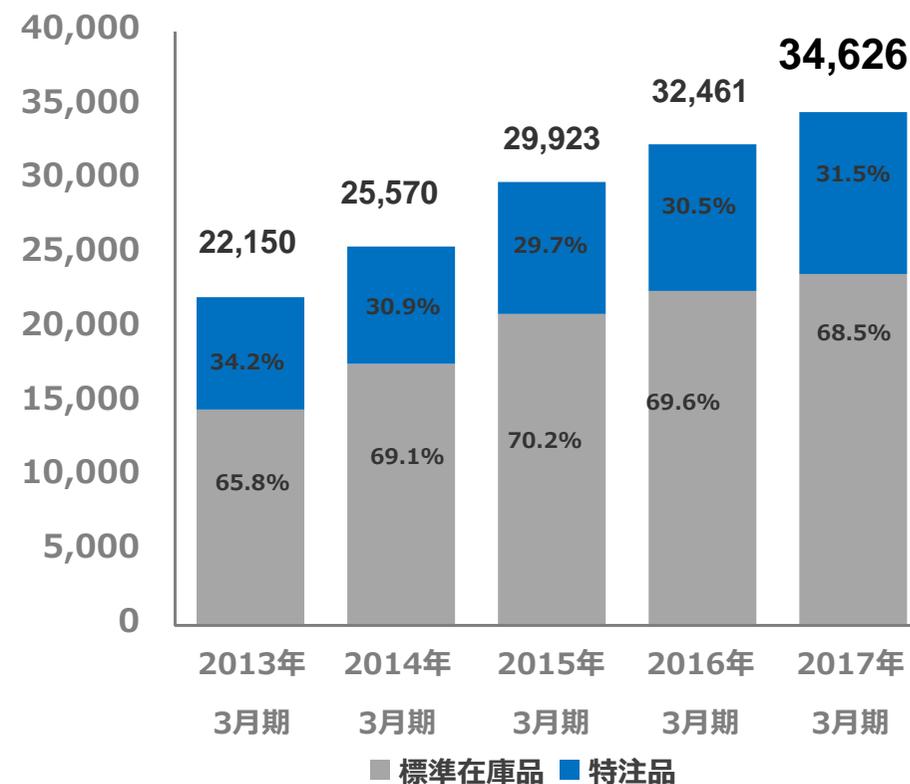
品種別

(単位：百万円)



標準在庫品・特注品別

(単位：百万円)

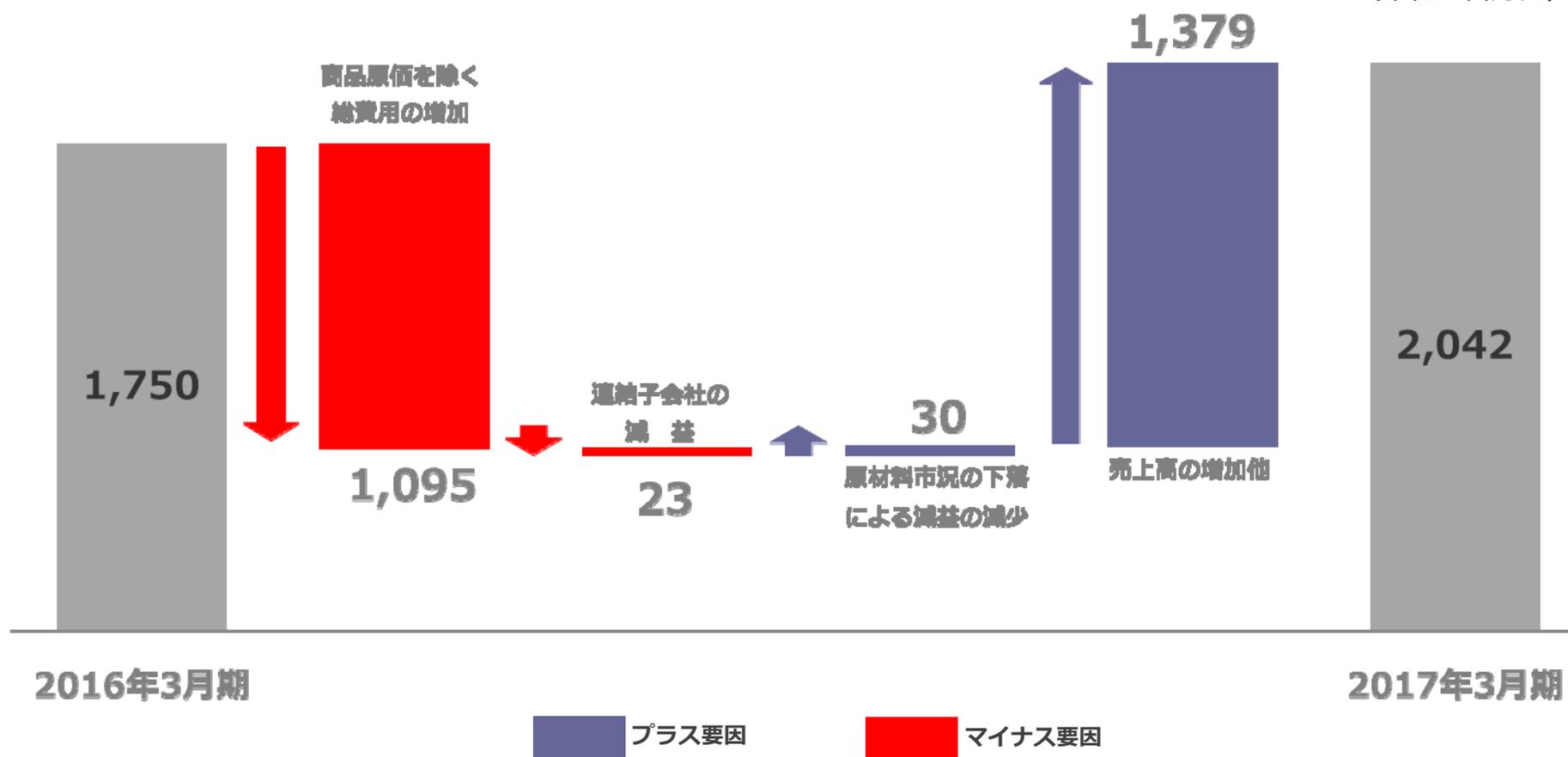


◆品種別売上高、標準在庫品・特注品別売上高の構成比に大きな変動はなかった。

3. 【連結】損益の状況

前連結会計年度経常利益と当連結会計年度経常利益の差異理由

(単位 百万円)



4. 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2016年3月末	2017年3月末	増減	負債及び純資産の部	2016年3月末	2017年3月末	増減
流動資産	19,060	21,758	2,697	流動負債	11,132	13,772	2,639
現金及び預金	4,255	4,820	564	支払手形及び買掛金	9,928	12,020	2,091
受取手形及び売掛金	10,136	11,656	1,520	未払法人税等	155	485	330
棚卸資産	4,446	4,952	506				
固定資産	6,109	6,846	737	固定負債	30	31	1
有形固定資産	5,316	5,977	660	純資産	14,006	14,800	794
資産合計	25,169	28,604	3,434	負債及び純資産合計	25,169	28,604	3,434

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 21,758百万円（前連結会計年度末比 2,697百万円増加）

- ・利益増加による現金及び預金の増加
- ・売上高の増加にともなう受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加

②固定資産 6,846百万円（前連結会計年度末比 737百万円増加）

- ・工場設備等の購入による設備投資（1,342百万円）の増加

③流動負債 13,772百万円（前連結会計年度末比 2,639百万円増加）

- ・売上高の増加にともなう支払手形及び買掛金の増加
- ・利益増加による未払法人税等の増加

④純資産 14,800百万円（前連結会計年度末比 794百万円増加）

- ・利益剰余金の増加

5. 【連結】 キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	前連結会計年度末比
営業活動による キャッシュ・フロー	1,268	2,413	1,145
投資活動による キャッシュ・フロー	85	△1,301	△1,387
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 544	△ 510	33
現金及び 現金同等物の 期末残高	4,255	4,820	564

主要項目の増減要因分析

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

2,413百万円 (前連結会計年度末比1,145百万円増加)

- ・ 税金等調整前当期純利益の増加292百万円
- ・ 売上高増加に伴う売上債権、棚卸資産、仕入債務に係る増加215百万円
- ・ 未払法人税等の増加496百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

△1,301百万円 (前連結会計年度末比1,387百万円減少)

- ・ 固定資産の取得に伴う支出の増加による減少1,198百万円

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

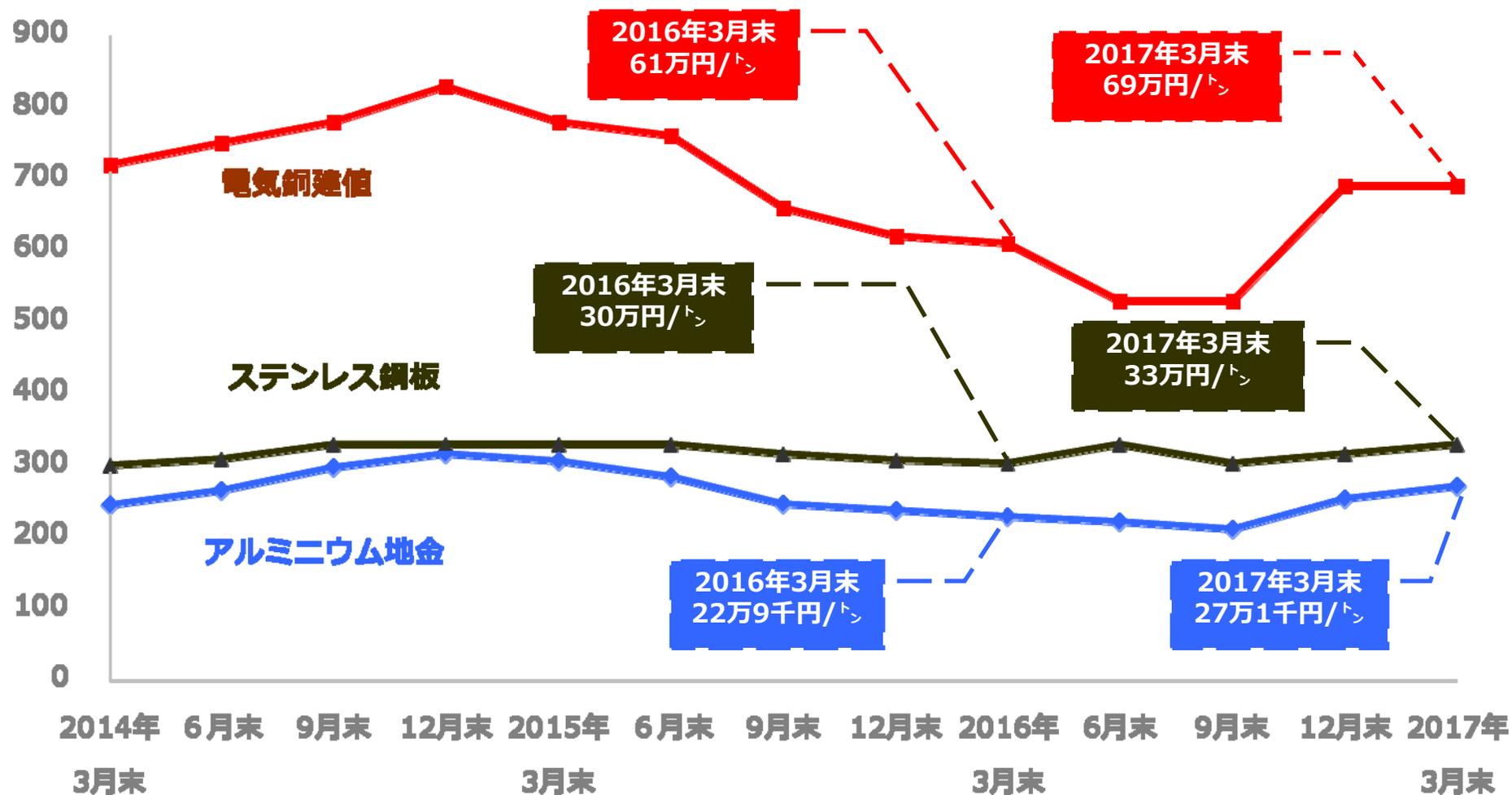
△510百万円 (前連結会計年度末比33百万円増加)

- ・ 配当金の支払額減少による増加33百万円

6. 事業環境

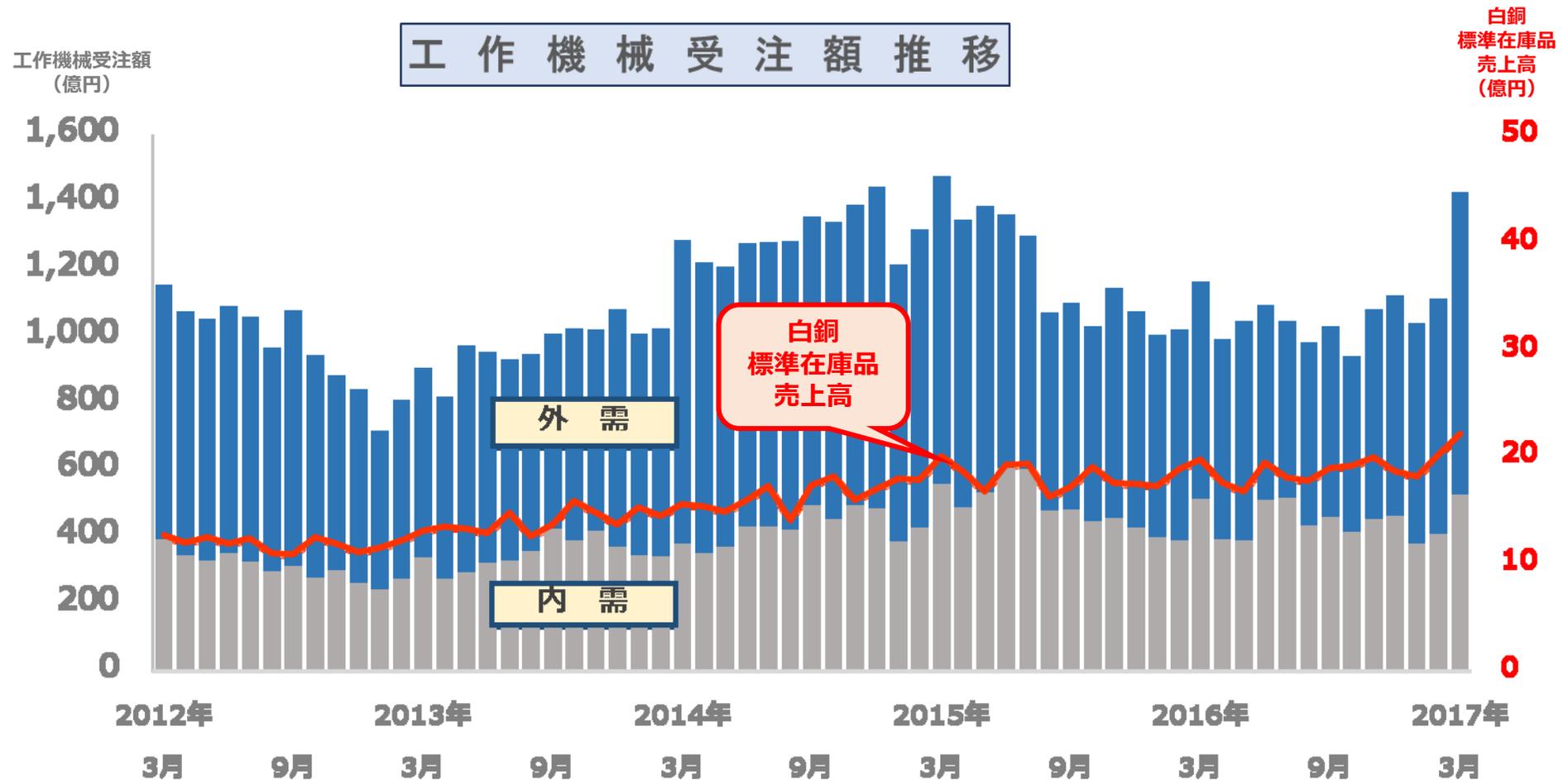
(1) アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

(単位：千円/ト)



6. 事業環境

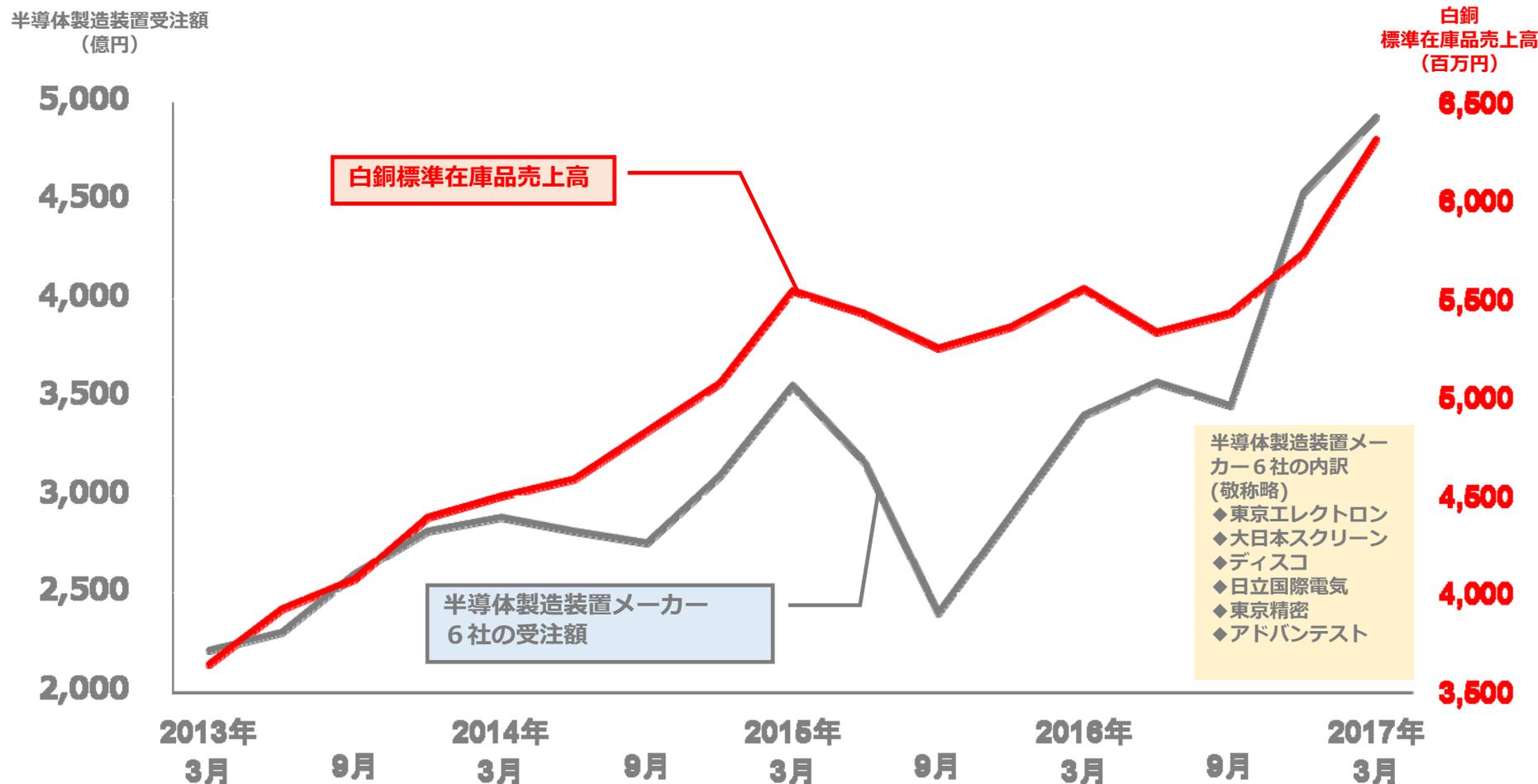
(2) 工作機械の受注動向



6. 事業環境

(3) 半導体製造装置の受注動向

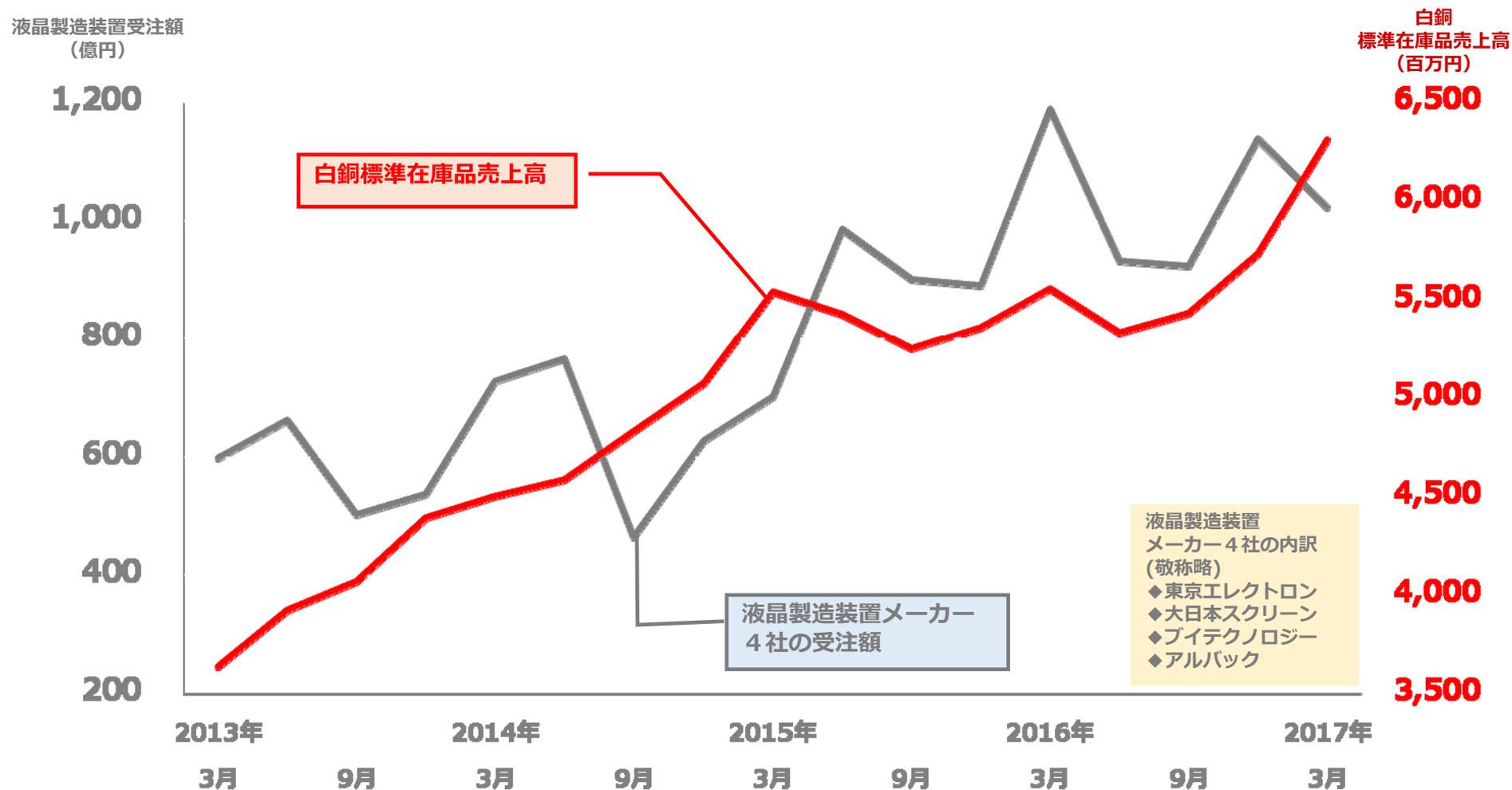
半導体製造装置メーカー6社の受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較



6. 事業環境

(4) 液晶製造装置の受注動向

液晶製造装置メーカー4社の受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較



7. 今後の事業戦略

(1) 同業他社との差別化による顧客満足度の向上

① 製造現場のソリューション

- ◆ ロボットなど省人省力化生産設備の積極投入
- ◆ 製造現場のIoT推進

② 営業およびお客様センターのレベルアップと白銅ネットサービスの充実

- ◆ お客様センター機能の改善
- ◆ 白銅ネットサービスのさらなる改善

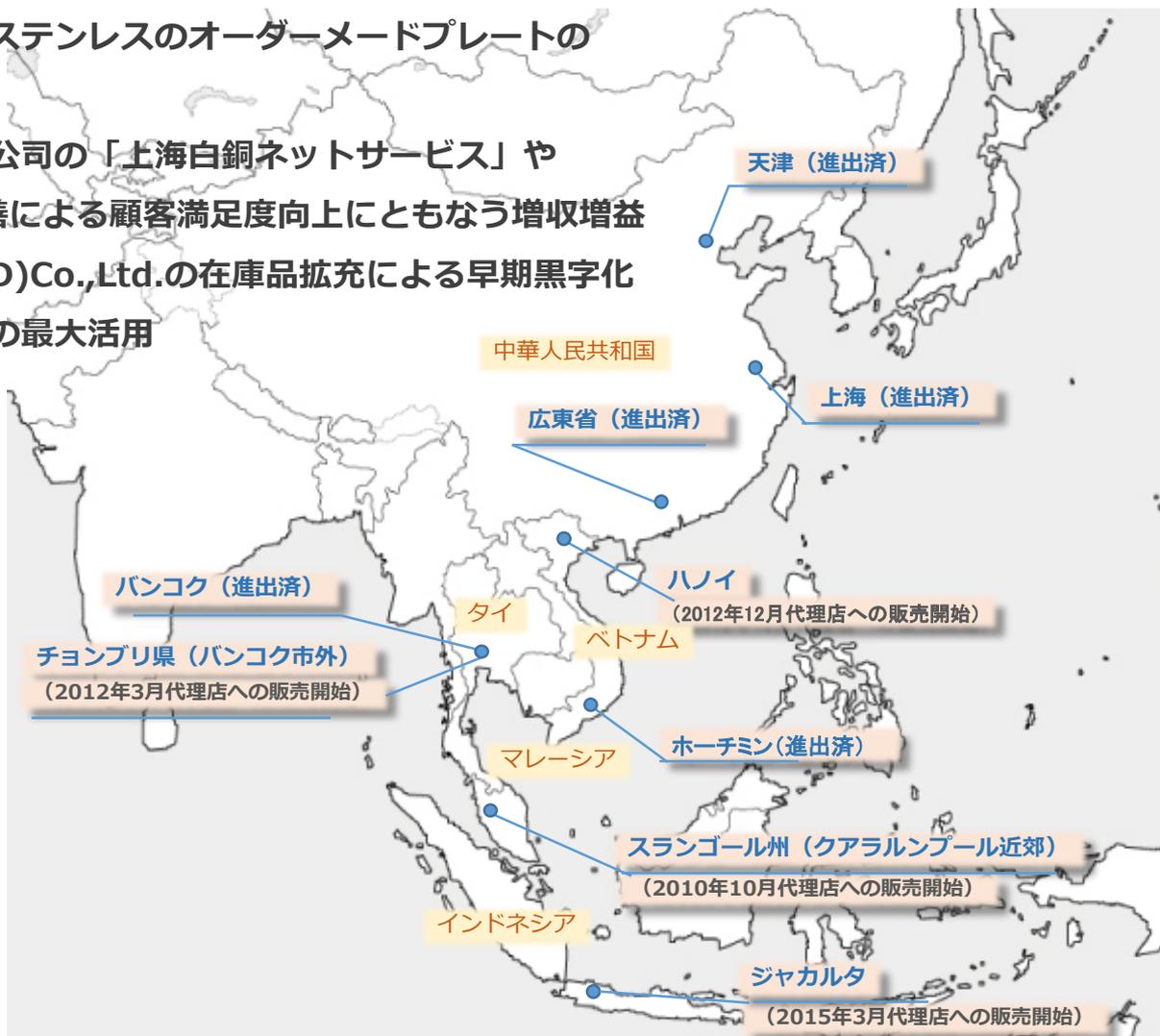
③ 標準在庫品の品揃えの拡大

- ◆ 標準在庫品の品目サイズ数の増加
- ◆ 航空宇宙規格材料シリーズ・エコシリーズ・ハイスペックシリーズ等の特徴のある商品の充実

7. 今後の事業戦略

(2) 海外事業の強化

- ◆ アジア全域への非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレートの販売網の確立
- ◆ 上海白銅精密材料有限公司の「上海白銅ネットサービス」やお客様センターの機能改善による顧客満足度向上にともなう増収増益
- ◆ HAKUDO(THAILAND)Co.,Ltd.の在庫品拡充による早期黒字化
- ◆ ベトナム駐在員事務所の最大活用



7. 今後の事業戦略

(3) 3Dプリンターでの金属製品の受託製造

- ◆ お客様の材料調達や金型製作の時間を大幅短縮
- ◆ 最終製品をダイレクトに造形可能
- ◆ 切削加工では困難な複雑な形状の一体構造化の実現
- ◆ 究極の多品種・少量生産の提供



取り扱い金属の種類

- ① マルエージング鋼
- ② ステンレス鋼 (SUS630)
- ③ アルミニウム (AlSi12)



画像提供: 3D Systems Corporation

8. 2018年3月期【連結】業績予想

(単位：百万円)

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想) ※	前連結会計年度比 増減	増減率
売上高	34,626	36,900	2,273	6.6%
営業利益	1,985	2,240	254	12.8%
経常利益	2,042	2,310	267	13.1%
当期純利益	1,405	1,570	164	11.7%

※2017年5月11日発表

9. 株主還元

1株当たり配当金の推移

